

KASUGA

住 み よ さ 発 見 市 民 都 市 か す が

市 報 かすが

平 成 2 4 年

10 / 15

No.983



今号の表紙

健康ウォーク

9月19日、白水大池公園で健康ウォークが行われました。ヘルスリーダー（運動ボランティア）の指導の下、21人の参加者が心地よい気候の中を元気に歩き、気持ちの良い汗を流していました。

CONTENTS

春日市の家計簿	02
「健全化判断比率」と「資金不足比率」...	06
全国コミュニティ・スクール研究大会報告...	08
市からのお知らせ	11
トピックス／広報レポーターだより...	13
情報ひろば	14
健康掲示板／カンガルー通信 ...	20
コミュニティ・スクール／お誕生日おめでとう...	21

春日市の家計簿

平成 23 年度の市の決算がまとまりましたので、その概要をお知らせします。

一般会計

市の行政運営の基本的な経費を扱う会計です。

歳入においては、法人市民税および固定資産税などの伸びにより、市税が大幅に増加しましたが、各種交付金および繰入金などが減少したことにより、全体は減額となりました。

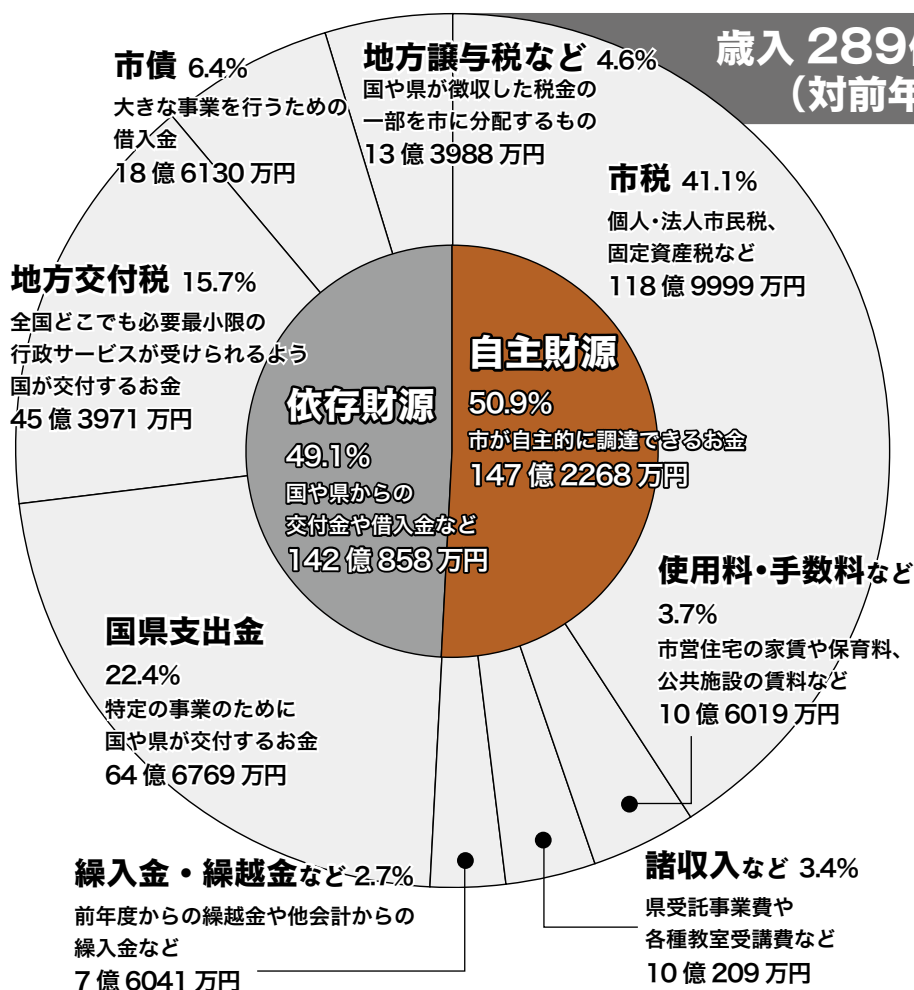
歳出においては、第 5 次総合計画の将来像の実現に向けた実施計画などを勘案しつつ、市民ニーズを把握するとともに、予算の必要性や事業効果を見極めながら、効率的、効果的な予算執行に努めました。

その結果、平成 23 年度は 7 億 1627 万円の黒字となり、24 年度に繰り越しました。

平成 23 年度
決 算

	平成 23 年度	平成 22 年度
歳入額	289 億 3126 万円	290 億 2605 万円
歳出額	279 億 6389 万円	284 億 8808 万円
差引額	9 億 6737 万円	5 億 3797 万円
実質収支額（純黒字額）※	7 億 1627 万円	4 億 6662 万円

※「実質収支額（純黒字額）」は、「差引額」から翌年度に繰り越して使うことが決まっている財源を引いた額です。



財源構造から見た場合、自主財源が147億2268万円(50.9%)、依存財源が142億858万円(49.1%)となりました。自主財源の割合が22年度から1.4ポイント上昇し、50%を超える結果となり、行政活動の自主性と安定性を確保できました。

主な増減内容(金額は対前年度増減額)

▶市税 3億1337万円増 ↑

個人市民税は減収しましたが、法人市民税および固定資産税が増収となりました。

▶国県支出金 9468万円増 ↑

子ども手当負担金および障害者自立支援給付費負担金が増額となりました。

▶市債 6億6580万円減 ↓

臨時財政対策債(地方交付税では補えない収支不足分を確保するための、国の施策による借入)が減少しました。

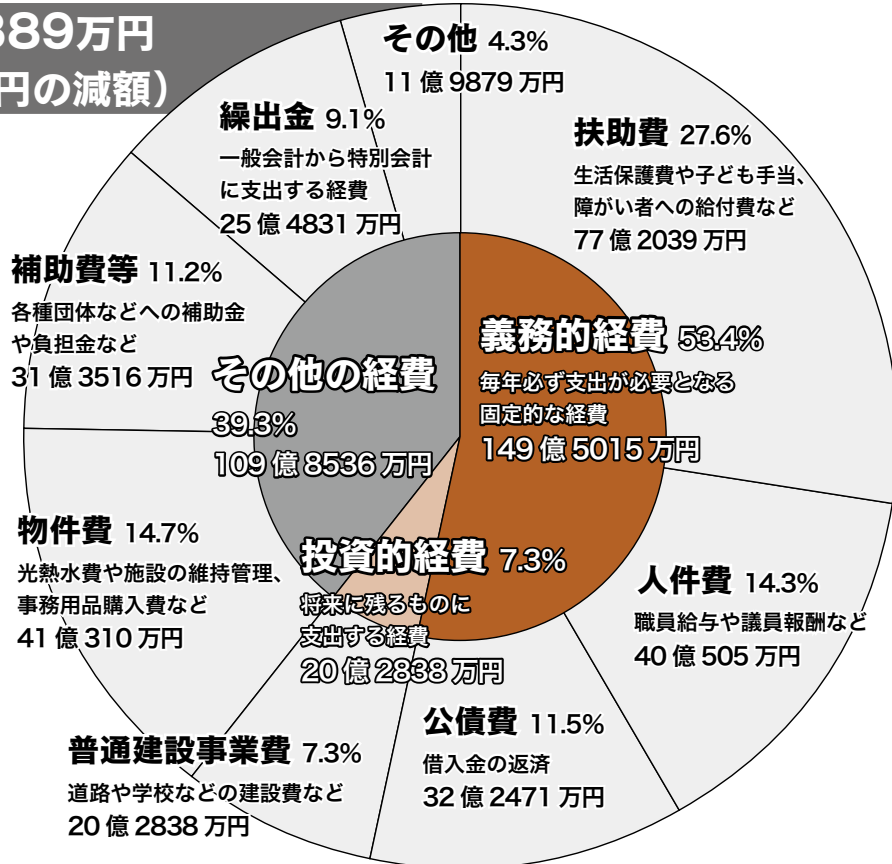
歳出(性質別)279億6389万円 (対前年度 5億2419万円の減額)

歳出全体では、22年度に比べて1.8%減少しました。主な要因は、春日原保育所建替事業や春日野中学校校舎増築事業などの完了に伴う、投資的経費の大幅な減少です。

なお、性質別分類では「どのような用途にいくらの経費が支出されたか」が分かります。

主な増減内容(金額は対前年度増減額)

- ▶義務的経費 2億3057万円減
主な減少要因は、退職手当および市債元利償還金の減などです。
- ▶投資的経費 8億2684万円減
主な減少要因は、春日原保育所建替事業費および春日野中学校校舎増築事業費の減などです。
- ▶その他 5億3322万円増
主な増加要因は、財政調整基金および市民スポーツセンター整備基金などの基金への積立金の増です。



歳出を目的別にみると…

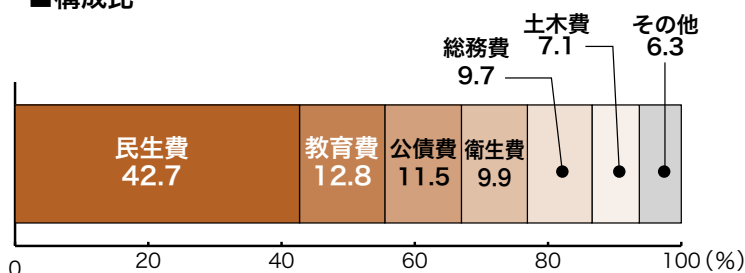
目的別分類では、「どのような目的のために経費が支出されたか」が分かります。

区分	目的	歳出額	対前年度増減額	伸び率
民生費	子どもや高齢者、障がい者などの福祉の向上のため	119億3935万円	1億9690万円	1.7%
教育費	教育や文化、スポーツ振興のため	35億8701万円	▲2億8191万円	▲7.3%
公債費	長期借入金の返済のため	32億2472万円	▲5億135万円	▲13.5%
衛生費	健康づくりやごみ処理などのため	27億5947万円	8111万円	3.0%
総務費	行政運営や戸籍、徴税のため	27億1389万円	6621万円	2.5%
土木費	道路や公園などの建設や補修のため	19億9234万円	▲2億4990万円	▲11.1%
その他	議会や消防、産業振興のため	17億4711万円	1億6475万円	10.4%
合計		279億6389万円	▲5億2419万円	▲1.8%

主要な事業例(金額は平成23年度事業費)

- ▶民生費
子ども手当費 24億2342万円
- ▶教育費
小中学校屋上防水改修 8552万円
小中学校施設耐震化 9307万円
- ▶土木費
第765号路線歩道整備 9317万円
- ▶総務費
市営住宅整備基金 1億100万円

■構成比



特別会計

特定の事業を行うため一般の歳入歳出と区分して処理する会計です。

特別会計の財源不足のうち、一般会計で負担することが認められている経費については、一般会計からの繰り入れを行いました。

会 計 区 分		歳入(収入) ①	歳出(支出) ②	差引額 ①-②	一般会計からの 繰入金
国民健康保険事業特別会計 (国民健康保険の運営のための会計)		102億1477万円	97億6953万円	4億4524万円	10億 28万円
後期高齢者医療事業特別会計 (後期高齢者医療の運営のための会計)		10億1090万円	9億6404万円	4686万円	1億8426万円
介護保険事業特別会計 (介護保険運営のための会計)		46億4150万円	45億9869万円	4281万円	6億7886万円
下水道事業会計 (下水道の管理・運営のための会計)	収益的収支	20億7233万円	18億2874万円	2億4359万円	4億4428万円
	資本的収支	8億4938万円	16億5985万円	▲8億1047万円 ※	

※下水道事業会計の資本的収支の不足分は、内部留保資金で補てんしています。

一部事務組合

一部事務組合は、市単独で行うよりも、複数の市町村で実施する方が効率的、効果的な事務を広域処理するために設置されています。春日市が負担金を支出している一部事務組合の決算収支の状況は下表のとおりです。

団 体 名		歳入総額 ①	歳出総額 ②	歳入歳出差引 ①-②	春日市負担金
春日大野城衛生施設組合 し尿、不燃物の処理など		4億8453万円	4億3210万円	5243万円	1億7891万円
春日・大野城・那珂川消防組合 消防に関する事務など		21億8849万円	21億6799万円	2050万円	8億3832万円
筑慈苑施設組合 火葬場の運営など		5億2210万円	5億 546万円	1664万円	3823万円
福岡県自治振興組合 市町村職員の研修など		10億8707万円	10億7419万円	1288万円	146万円
福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合 非常勤消防団員に係る災害補償に関する事務など		4億8327万円	4億8299万円	28万円	367万円
筑紫自治振興組合 筑紫地区地域活動支援センターつくしびあの運営など		4823万円	4386万円	437万円	971万円
福岡都市圏南部環境事業組合 可燃ごみの処理施設設置に関することなど		8億2008万円	7億1296万円	1億 712万円	7878万円
福岡県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療制度の事務など	一般会計	37億9259万円	36億9004万円	1億 255万円	639万円
	後期高齢者医療 特別会計	6185億4496万円	6140億 790万円	45億3706万円	16億 803万円

※上水道事業を行う「春日那珂川水道企業団」の決算状況については、同企業団のウェブサイトで公開しています。

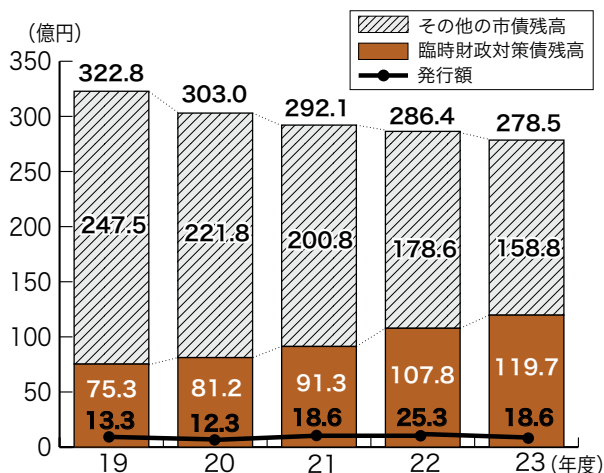
春日市の財政状況

市 債

市債は、道路や公共施設などをつくるために借り入れた借金です。

一般会計における市債の発行額の推移は次のとおりです。

■市債発行額と残高の推移(一般会計)

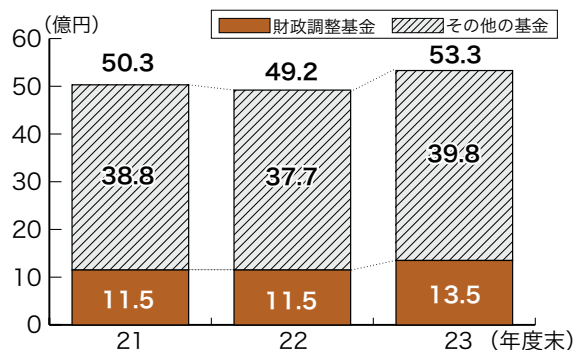


基 金

基金は、特定の目的のために資金の積み立て(運用)などを行う市の預金です。そのうち財政調整基金は、予期しない収入の減少や支出の増加に備えるための積立金です。

23年度は「職員退職手当基金」の取り崩しおよび「財政調整基金」「市民スポーツセンター整備基金」などへの積み立てなどを行いました。

■基金残高の推移



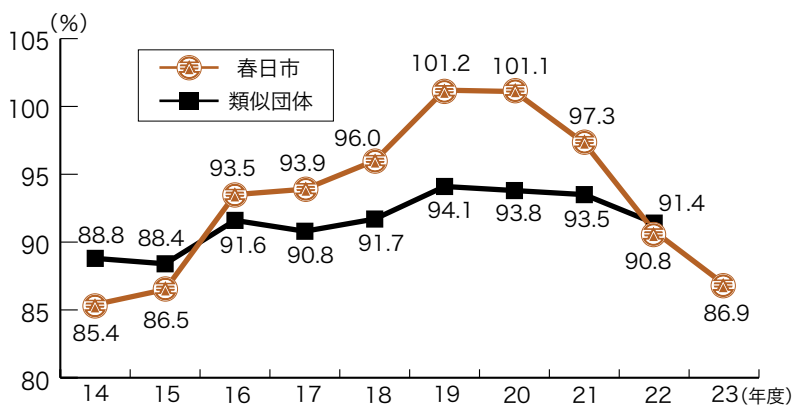
経常収支比率 86.9% (平成22年度 90.8%)

「経常収支比率」は、財政構造の弾力性を表す指標で、地方税や地方交付税など毎年収入される一般財源に対する、毎年固定的に支出される経費の割合です。この割合が高いほど投資的な経費に充てる余裕がなく、財政運営が厳しい状態といえます。

本市の経常収支比率は、前年度から3.9ポイント改善し86.9%になりました。要因としては、市税および地方交付税などの経常一般財源等収入が増えたことに加え、人件費や公債費などの義務的経費の縮減によるものです。

しかしながら、今後は公共施設の更新などの大型事業が控えていることから、さらなる歳入確保と、経常的な経費縮減の必要があります。

■経常収支比率の推移



※1 類似団体とは、全国の市の中で春日市と人口・産業構造が類似した団体を指します。県内では飯塚市、大牟田市、県外では東京都武蔵野市、国分寺市、多摩市などが類似団体になります。

※2 類似団体の23年度数値はまだ公表されていません。

問い合わせ先 財政課 財政担当 ☎(584) 1111 FAX(584) 1145
URL <http://www.city.kasuga.fukuoka.jp>

「健全化判断比率」と「資金不足比率」

(平成23年度決算)

地方公共団体の財政破綻を未然に防ぎ、財政再生や健全化を図るため、平成19年6月に「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」が公布されました。この法律で、財政運営の健全性を診断するための健全化判断比率と資金不足比率を公表することが、地方公共団体に義務付けられています。

春日市においてもこれらの比率を算定し、財政の健全性を診断しましたので報告します。

春日市の財政は健全な状態です

春日市の健全化判断比率はいずれも前年度から改善し、早期健全化基準を大きく下回っています。これは、春日市の財政が健全な状態であることを示しています。

健全化判断比率とは？

①「実質赤字比率」、②「連結実質赤字比率」、③「実質公債費比率」、④「将来負担比率」の4項目があり、地方公共団体の赤字の度合いなどを診断します。

★早期健全化基準、財政再生基準は、診断のための目安です

【早期健全化基準→黄色信号】

この基準を超えた場合、財政健全化計画を立てることが義務付けられるなど、外部の厳しいチェックを受けた上での自主改善努力が求められます。

【財政再生基準→赤信号】

この基準を超えた場合、財政再生計画を立て、外部の厳しいチェックを受け、国などの指導の下で財政再生に取り組むことになります(将来負担比率には財政再生基準なし)。

①実質赤字比率

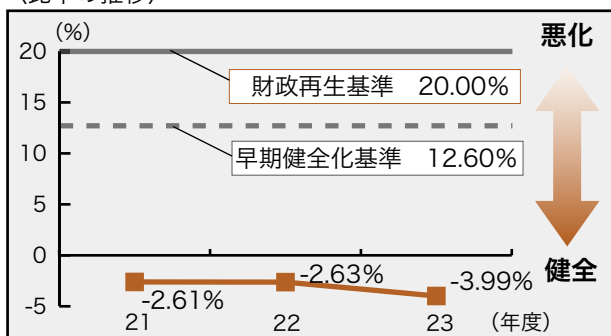
普通会計※1の赤字の度合い

▷この比率が高いほど赤字額が大きくなります。

【算定結果】 — %※2(-3.99%)

黒字の場合、数値化するとマイナスになります。

〈比率の推移〉



②連結実質赤字比率

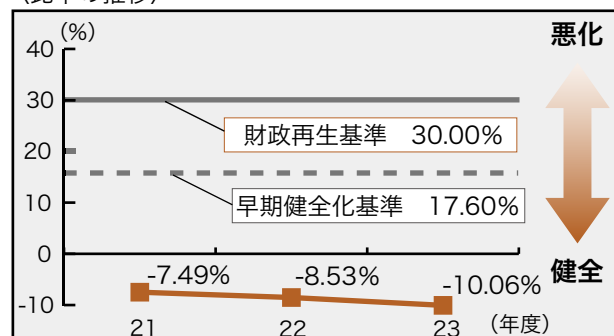
全会計の赤字の度合い

▷この比率が高いほど赤字額が大きくなります。

【算定結果】 — %※2(-10.06%)

黒字の場合、数値化するとマイナスになります。

〈比率の推移〉



※1 普通会計は、決算上の会計で、春日市では一般会計が該当します。

※2 実質赤字比率、連結実質赤字比率において赤字がない(黒字である)場合には、「—」で表記することになっています。同時に過去の比率との比較を行うため、数値化しています。

③実質公債費比率

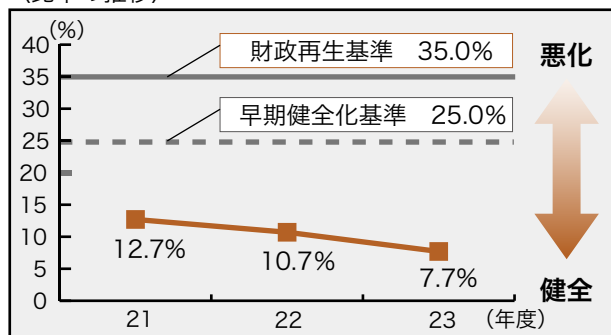
借金の返済金などが財政を圧迫している度合いの
3カ年平均値

▷この比率が高いほど借金の返済金などで財政が圧迫
されているといえます。

【算定結果】 7.7% (平成21～23年度平均)

前年度から3.0ポイント改善し、制度開始後、最も良い数
値になりました。

〈比率の推移〉



④将来負担比率

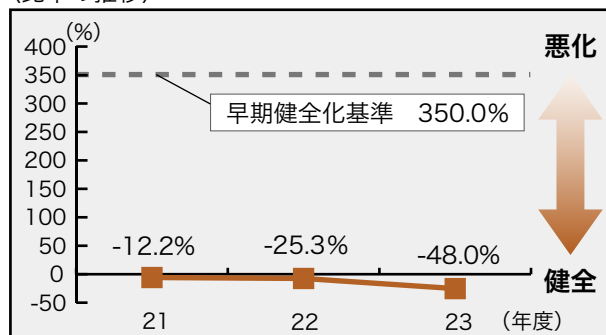
将来の収入との比較で、借金残高などの負債が
将来の財政を圧迫する度合い

▷この比率が高いほど将来の財政が圧迫される恐れが
あるといえます。

【算定結果】 — %※3 (-48.0%)

将来の収入が負債を上回る場合、数値化するとマイナス
になります。

〈比率の推移〉



※3 将来負担比率において、将来の収入が将来の負債を上回っている場合には、「—」で表記することになっています。
同時に過去の比率との比較を行うため、数値化しています。

資金不足比率とは？

春日市が実施する下水道事業の経営状態を、資金不足の度合い(資金繰りの危険度)から個別に診断
するための比率です。この比率が高いほど資金繰りが危険であるといえます。

★経営健全化基準(20.0%)は、診断のための目安です

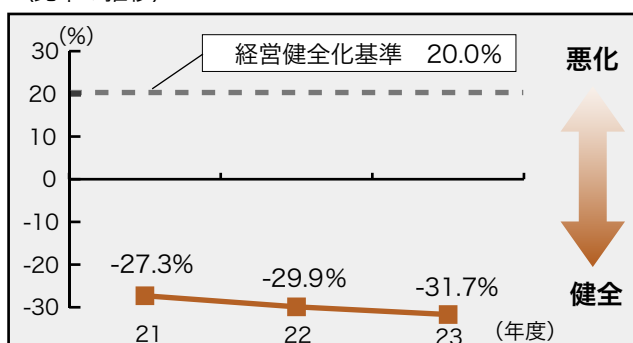
これを超えた場合、経営健全化計画を立て、外部の厳しいチェックを受けた上での自主改善努力が求
められます。

【算定結果】 — %※4 (-31.7%)

▷資金不足がない(資金繰りに問題がない)場合、比
率はマイナスとなります。

▷経営健全化基準を大きく下回っているので、下水
道事業会計の経営は健全であるといえます。

〈比率の推移〉



※4 資金不足比率において、資金不足がない(資金繰りに問題がない)場合には、「—」で表記することになっています。
同時に過去の比率との比較を行うため、数値化しています。

春日市の財政は健全な状態にあります、今後もより一層適正な財政運営に努めます。

問い合わせ先 財政課 財政担当 ☎(584)1111 ☎(584)1145

全国コミュニティ・

スクール研究大会報告

全国から1400人が参加

8月22日、第1回全国コミュニティ・スクール研究大会がクローバープラザで開催され、北海道から沖縄まで全国の教育関係者や学校関係者、地域の人など約1400人が参加しました。

同大会は、全国コミュニティ・スクール連絡協議会と春日市教育委員会主催、文部科学省企画協力によるもので、分科会での実践発表や全体会でのフォーラムなど多くの事例報告が行われ、活発に意見が交わされました。

全国の関係者が一堂に会し、コミュニティ・スクール（以下「CS」）について共に考え、共に学ぶ場となるとともに、春日市の取り組みが全国に注目され、CSについてより多くの皆さんに理解してもらう大変有意義な大会となりました。

コミュニティ・スクールとは

学校関係者や保護者、地域の人たちが参加する「学校運営協議会」を設置した学校のことを指します。

協議会には、①学校運営に関して教育委員会や校長に意見を述べること、②校長の作成した方針などを承認すること、③当該校の教職員の任用に関して意見を述べることなどの権限が与えられています。

ここでは、学校、家庭、地域が協働する取り組みについての議論や、学校や地域の行事などの情報を共有するなど、学校、家庭、地域が一緒になって子どもを育てるという目的の下、積極的に意見が交わされています。春日市では、学識経験者や教育委員会事務局職員も委員として、学校運営に携わっています。

CSでは、地域貢献活動としての児童生徒による地域行事への参加や、地域の人たちによる見守り活動、保護者による学校支援ボランティアなど、各学校、各地域によってさまざまな取り組みが行われています。いずれも学校、家庭、地域がそれぞれの役割を明確にし、責任を持って共育を進めています。

発表内容

分科会

第1会場

①トライ・ザ・赤松（個人レベルの深化を目指す参画意識改革）（佐賀市立赤松小）

②地域ぐるみの健康づくりプロジェクト（天神山小）

第2会場

①教育の充実を支援する学校運営協議会を目指して（熊本県玉名市立玉名中）

②「スチューデント・コミュニティ」による地域貢献活動（春日北中）

第3会場

①中学校ブロックを活用した小中9年間で子どもを育む取組（那珂川町立那珂川北中）

②「熟議」を活用して学校運営協議会の活動を推進した取組（佐賀県嬉野市立塩田中）

第4会場

①学校・家庭・地域が協働した「桜原っ子」を育む取組（宇美町立桜原小）

②地域とともにある学校づくりをめざして（大分県豊後高田市立田染小）

第5会場

①地域に根ざす子どもを育てる学校づくり（大木町立大莞小）

②地域と協働で子どもを育むCSと学校評価（熊本県氷川町及び八代

▷記念講演で人材育成やグローバル教育など、さまざまな提言を行う大竹美喜さん

分科会

分科会では、CSで成果を上げて
いる県内外の14校が発表。立ち見が
出るほどの盛況で、活発に意見交換
が行われました。

第1会場第2部では、天神山小学
校が地域ぐるみの健康づくりについ
て実践発表。その取り組み「わんぱく
ウォーク」では、保護者や地域の皆さ
んも一緒に参加し、子どもたちに声
を掛けたり、ハイタッチしたりする
姿も見られるなど、地域ぐるみでの
健康教育の推進を実感していると発
表しました。

第2会場第2部では、春日北中学



▷活発な意見交換を行う参加者たち



△事例報告する日の出小の関係者たち

校が、スチューデント・コミュニティ
による地域貢献活動について実践発
表。生徒代表の行武美晴さんと坂根
脩太郎さんは、「地域事業への参加を
通して、地域への親近感が湧き、自分
の地域という意識が出てきました」と
と発表。CSの取り組みによって子
どもの郷土愛が確実に育まれている
ことが成果として見えました。

第6会場第1部では、日の出小学
校が、学校と家庭の「響育」の取り組
みについて実践発表。サマースクー
ルやゲストティーチャー、日の出っ
子ノートなどの具体的な取り組みを
交えながら、学校、家庭、地域が一体
となった教育活動の継続によりコミ
ュニケーション能力や生活習慣の向

上が図られ、学力向上にもつながっ
ていると発表しました。

第7会場第1部では、春日西中学
校が、校区における学校関係者評価
の取り組みと成果、展望について発
表。質疑応答で山下敏博さん(下白水
北自治会長)は、「若い人たちに次の
世代を担ってもらうためには、どの
ようにこの地域を愛してもらおうか、
好意を持ってもらうかが大事。子ど
もは地域にとって大切な一員である
と考えて取り組みを行っている」と
述べ、同校の堀田校長は「お互いにや
って良かったというものがないと連
携は進まない」と双方関係の構築
の重要性を強調しました。



▷分科会は熱心な参加者たちで満員に

市中学校組合立氷川中)

第6会場

①学校と家庭の「響育」が実る日の
出小学校の取組(日の出小)

②学校支援ボランティア事業を活用
した地域に開かれた学校づくり
(鹿児島市立武岡小)

第7会場

①ブロックCSにおける学校評価シ
ステムの構築(春日西中)

②それ面白い！やりましょう！大
人の本気が、子どもを変える！
(福津市立福岡中)

全体会

○記念講演 「教育に希望をつなぐ」
大竹美喜(アフラック最高顧問)

○フォーラム 「地域とともにある
学校づくりとコミュニティ・スク
ール」

▽登壇者 富樫繁樹(北海道三笠
市教育委員会教育長)、持田浩志
(東京都武蔵村山市教育委員会
教育長)、西孝一郎(京都市教育
委員会首席指導主事)、永江多輝
夫(鳥取県南部町教育委員会教
育長)、山本直俊(春日市教育委
員会教育長)

▽コーディネーター 佐藤晴雄
(日本大学教授・CS連絡協議
会事務局局長)

○講評 鈴木寛(CS連絡協議会顧
問・元文部科学副大臣)

※敬称略

全体会

フォーラムでは、「地域とともにある学校づくりとコミュニティ・スクール」と題し、CSを導入している5つの自治体の教育長が、各地域の特色や導入の背景、効果や課題について意見を出し合いました。

成果の面では、CSを導入したことで学校への理解が深まった、学校を支援するボランティアへの参加が増えた、地域活性化が進みまちづくりにつながったなどさまざまな意見が出ました。

一方、会場からは、CSの形骸化や人事権を不安視する声が上がりましたが、西孝一郎

さん(京都市教育委員会首席指導主事)は「地域の子どもは地域で育てる」という基本理念に立ち戻り、大人が力を合わせている姿を子どもたちに見せていくことが必要」とCSの重要性をあらためて強調。また、山本教育長は「人事に関する学校運営協議会からの申し出は、教員の加配措置を求めるなどの前向きな意見が多い」と説明しました。

鈴木寛さんによる講評では、春日市がCSを導入したことで、学力の



△フォーラムで意見交換する登壇者たち

向上や補導件数の減少などの効果の面にも触れた上で、「家庭教育力の低下を地域で補う必要があり、この問題を考える上で、CSには大きなメリットがある。より多くの人間が教育に関わり『熟議』^{じゅくぎ}することで、みんなですすむことができる」と締めくくりました。

問い合わせ先 教務課教育総務担当

☎(584)1111

☎(584)1153

貝ノ瀬滋さん

(CS連絡協議会会長・東京都三鷹市教育長)



現在、全国で120の自治体、1183校が、さまざまな形でCSに取り組んでいます。そこで、一堂に会し情報交換を行い、先進的にCSに取り組んでいる春日の実践も見てもらおうと、春日市で開催しました。

定員を超える約1400人が来場したことからも、CSへの関心の高さが感じられます。また、社会が変わ

大会を終えて

山本直俊教育長

(春日市教育委員会)



市が進めるCSは、学校を中核に学校、家庭、地域三者が双方向の関係をつくりながら、校区という枠組みの中で共育を進めることであり、子どもたちが育つ地域基盤を形成することでもあります。

平成17年度に導入したCSが、8年目にして大きく花開いたと、大会を通じて実感しました。

その要因は、第一に「春日市の地域力、自治会を中心とした関係者の地域づくり力」。第二に「管理職・担当者を中心とした学校の創意ある主体的開かれた経営力、CS経営力」。第三に「教育委員会の活性化への挑戦力」とCSの検証・総括による先を見通

り学校にも変革が求められています。CSが、学校や教育委員会を変えていくツールとして認識されていることでもあると思います。

地域も、単なる連携ではなく、学校運営協議会として学校に入ります。そして、現場のことを現場に任せることで、学校運営についての工夫が生まれます。

子どもたちが地域に育てられると同時に地域の人たちも学んでいく。このことで、地域の自主性、自立につながる効果も生まれてくるのです。

した総合的支援力」と分析しました。この中でも特に、参加者が注目したのは、第一要因の「自治会を中心とした関係者の地域づくり力」です。学校支援、応援団として機能する「春日市の地域力」。これなくして春日市のCSは成立しなかったと言っても過言ではありません。

文部科学省は、今年度からCSを全国で大幅に拡大する目標を掲げました。CSをどのような方向で発展させていくか、私たちに課せられたやりがいのある課題です。

今後は、本市が独自に作成したCS評価指標のもとに発展の道筋を編み出していくことになりそうですが、地域と共に連携しながら構築していきたいと考えます。

市からの

public information from KASUGA city

お知らせ

「市からのお知らせ」をはじめ、市報に掲載した記事は、市報の発行日(毎月1日と15日)以降、市ウェブサイトの「お知らせ」にも載せます。

そのほか、市報に掲載していない情報もありますので、ぜひ利用してください。

URL <http://www.city.kasuga.fukuoka.jp>

功績をたたえて

市制40周年記念・第25回春日市表彰式

総務課 総務法制担当 ☎(584)1111 FAX(584)1145



△昨年の表彰式で祝辞を述べる井上市長

市は、毎年11月3日「文化の日」に、福祉、教育、スポーツなどさまざまな分野で市の発展に寄与した人や市民の模範となる人などを表彰しています。

今年度は、市制40周年の節目に当たることを記念して、市にゆかりの深い人なども併せて表彰します。また、式典の第一部では八尋祐子さん(バイオリニスト)とおおぼ晴美さん(ピアニスト)による祝賀の演奏も予定しています。

表彰者の功績をたたえるため、ぜひ来場してください。

日時 11月3日(土)
午前10時30分～午後0時30分(予定)

場所 ふれあい文化センター旧館
サンホール(大谷6-24)

後期高齢者 健康診査を実施

福岡県後期高齢者医療制度の被保険者を対象に、生活習慣病の予防や健康の保持、増進のために、健康診査を実施しています。

該当する人には、平成25年3月末まで受診できる受診票とお知らせを送付しています。まだ受診していない人は、指定医療機関などで早めに受診してください。指定医療機関については、受診票と一緒に送付した一覧表を見てください。

受診の際には、「被保険者証(保険証)」と広域連合が郵送した「受診票」が必要です。受診票が見当たらない場合は再発行しますので、問い合わせてください。

なお、生活習慣病で治療中の人は、受診の対象となりません。

受診時の自己負担 500円

問い合わせ先 福岡県後期高齢者医療広域連合お問い合わせセンター

☎(651)3111 FAX(651)3901

マナー向上を目指して

第7回ペットのフン取り作戦

環境課 生活環境担当 ☎(584)1111 FAX(584)1147

散 歩時のふんの放置など、一部の心無い飼い主のマナー違反のために、多くの人が不快な思いをしています。しかし飼い主一人一人が意識して行動すれば、人とペットが快適に暮らすことができます。

そこで、ペットの飼い方マナー向上のため、「ペットのフン取り作戦」を実施します。この作戦に参加し、一緒にペットのふんを回収しながら、マナー向上について考えてみませんか。

参加は無料で、申し込みも不要です。

日時 10月31日(水)(雨天中止)
午後4時～5時



場所 白水大池公園(下白水209)

※同公園管理棟前に集合してください。

内容 白水大池公園内に放置されたペットのふん拾い

※午後3時から、犬の飼い主同士の交流を図り、しつけの必要性や大切さを体験してもらうため、しつけゲームを行います。ぜひ飼い犬同伴で参加してください。



エコトピ



大切な地球を守るために

春日市は住宅都市でありながらも、豊かな自然を多く残しています。しかし、身近な自然環境のことについては、知らない人も多いのではないのでしょうか。

白水大池公園をはじめとする身近な自然は、私たちの生活に潤いを与えたり、都市のヒートアイランド現象を緩和したりと、大切な役割を果たしています。

今回は、市内にある公園で見掛ける山鳥を紹介します。皆さんも公園に出掛け、野鳥を観察しながら、身近な自然に触れてみませんか。

○春日公園(原町3-1-4)

広大な敷地に森・林・池があり、シジュウカラ、ウグイスが観察できます。

○白水大池公園(下白水209)

白水池を中心に、森や林が広がる自然豊かな公園で、シジュウカラ、ヤマガラが観察できます。

○弥生公園(弥生2-63)

小さな公園ですが、脇には「弥生の森特別緑地保全地区」に指定されている大きな森があり、シジュウカラ、ヤマガラが観察できます。

野鳥の種類

▷シジュウカラ

体長14~15cm。頭から胸を通して尾に達する黒い縦線があり、頬は白く、背は青灰色。鳴き声は「ツピツピツピツピ」。



▲シジュウカラ

▷ヤマガラ

体長は13~15cm。頭と胸は黒く、額・頬・後頸部に明色斑がある。体下面は茶褐色で雌雄同色。鳴き声は「ツ-ツ-ピー-、ツ-ツ-ピー-」。

▷ウグイス

体長は15cm。背中が灰色を帯びた緑褐色で腹部は灰白色。鳴き声は「ホーホケキョ」「チャツチャツ」。

※市内の自然環境を紹介する「自然環境マップ」は、市ウェブサイトや情報公開コーナー(市役所2階)、市民図書館(大谷6-24)で見ることができます。

問い合わせ先 環境課
☎(584)1111 ☎(584)1147

11月の日程

出前トーク「市長と語る」

行政管理課 企画担当 ☎(584)1111 ☎(584)1145

よりよい春日のまちづくりを目指すため、市の状況を分かりやすく説明するとともに、市長が直接、市民の皆さんとさまざまな視点から意見交換を行います。

誰でも自由に参加できます。気軽に来場してください。

○地区トーク

期日・場所

▽11月5日(月) 泉公民館(11月1日(木)から変更)

▽11月6日(火) 日の出町公民館

▽11月7日(水) 天神山公民館

▽11月8日(木) 大谷公民館

時間 午後7時~8時30分

○全体トーク

期日・場所

▽11月11日(日)

ふれあい文化センター旧館大会議室

時間 午後2時~3時30分

特養を整備

社会福祉法人を公募します

高齢課 高齢者支援担当 ☎(584)1111 ☎(584)3090

市は、「福岡県高齢者保健福祉計画(第6次)」に

基づき、平成25年度中に市内で特別養護老人ホームを整備する社会福祉法人を公募します。

対象施設 特別養護老人ホーム(50床)

申込期限 10月31日(水)

申込方法 直接高齢課窓口に必要な書類を提出する

※公募要領、提出様式は高齢課窓口または市ウェブサイトで入手できます。

申込先 高齢課高齢者支援担当(市役所1階)

当(市役所1階)

当(市役所1階)

ジェネリック医薬品を利用しましょう

ジェネリック医薬品(後発医薬品)は、新薬(先発医薬品)の特許が切れた後、新薬と同じ有効成分を持つ薬として厚生労働省の認可のもと製造販売されています。

新薬より価格が安く、飲みやすくなるなど工夫された薬もあります。また、利用することで薬代が安くなる場合もあります。

なお、すべての薬にジェネリック医薬品があるわけではありません。利用を始めようと考えている人は、医師・薬剤師に相談してください。

問い合わせ先 国保年金課国保担当
☎(584)1111 ☎(584)1141





ライオンズクエストプログラム

須玖小学校で公開授業

9月7日、須玖小学校でライオンズクエスト「思春期のライフスキル教育」の授業が行われました。ライオンズクエストとは、日常生活で起こるさまざまな問題を効果的に対処するための方法を体験的に学ぶ学習です。同校では、「道德教育推進コミュニティ・スクール」を推進しており、その教育効果を高めるため、今年度、県内で初めて、全学年へ同プログラムを導入しました。

この日行われたのは「友だち」について考える5年生を対象としたプログラム。まずは輪になってクラスメイトの名前を呼びながらボール投げをして体と心をほぐした後、「知り合い」と「友だち」の違いについてグループで話し合いました。また、どうしたら友達になれるのか、理想の友達像などを話し合い、模造紙に絵を描きながら理解を深めていきました。授業を終えた児童からは、「難しかったけど楽しかった」「友達の大切さが分かった」などの声が聞かれました。机に座って話を聞くだけでなく、グループワークを通して頭や体を使って学習することで、楽しみながらも体験として学ぶことができたようです。

市内で街頭啓発

秋の交通安全県民運動

9月21日、この日から30日までの「秋の交通安全県民運動」に併せて、市内2カ所で街頭啓発を行いました。この日は市長と教育長が西鉄春日原駅前で、副市長がJR春日駅前でチラシと啓発グッズを配布。重点目標である「飲酒運転撲滅」「夕暮れ時・夜間の交通事故防止」「シートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底」を呼び掛けました。



広報レポーターだより

◎市民から公募した広報レポーターが身近な話題を提供します。

市内の全小学校



外国語活動オープンスクール

9月から12月まで、市内の全小学校で、外国語活動オープンスクール（授業参観）が行われています。

9月5日に行われた春日西小学校では3年生が授業を公開。「今日の天気は？」をテーマに、天気に関する遊びをしながら英語を学びました。また、9月7日に行われた春日野小学校では5年生が、「自己紹介をしよう」をテーマに、自分が好きなものを英語で友達と伝え合いました。どちらの授業も、子どもたちは積極的に英語に挑戦。楽しい雰囲気の中で授業は進められていました。

参観に来ていた保護者や地域の人たちは、子どもたちが、外国語指導助手（ALT）や外国語活動指導員（JTE・日本人）の発音を上手にまねたり英語のクイズに答えたりするなど、その反応のよさに驚いていました。

10月以降に実施する学校もありますので、皆さん、参観に出掛けてみませんか。（広報レポーター 浦 晃榮）

情報ひろば INFORMATION

春日市役所

☎(584)1111

URL www.city.kasuga.fukuoka.jp



春日市のお宝文化人 アトリエ開放

お宝文化人の桑野照國さんが、自宅に開設したアトリエを開放します。

見学は無料で、出入り自由です。当日は、材料や用具を準備していますので、制作の体験(材料費などは実費負担)もできます。この機会にアトリエを訪ねてみませんか。

日時 10月20日(土)～22日(月)

午後2時～5時

場所 桑野宅アトリエ(昇町1-18)

※来場者には、カッパの陶芸品やペンダントなどを差し上げます。

取扱内容 絵画(油絵、水彩、パステル、点描、版画、写真、抽象、シュール)、陶芸(湯のみ、つ

ば、ペンダント、傘立て、陶彫刻など)、金属工芸(ブレスレット、ループタイ、イヤリング、ネックレスなど)

問い合わせ先 桑野

☎(591)7402(☎兼用)

福岡地方裁判所 裁判所体験ツアー

同裁判所で、裁判所体験ツアーを行います。

民事調停手続きや裁判員制度などの紹介や体験を通して、「調停ってどんな手続き」「裁判員って何をするの」といった疑問を解消しませんか。

参加は無料です。

日時 10月28日(日)

午前10時～正午

場所 同裁判所(福岡市中央区城

内1-1)

定員 30人程度(申込先着順)

申込方法 事前に電話で申し込む

申込・問い合わせ先 同裁判所総務課広報係

☎(781)3141

遊びに来ませんか 宰府園まつり2012

2年に一度の宰府園まつりを行います。皆さんぜひ来場してください。

日時 10月28日(日)

午前10時～午後4時

場所 宰府園(太宰府市大佐野7

6-1-1)

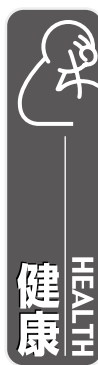
内容 ステージ、バザー(拾得物提

供品など)、お楽しみ抽選会、手作り商品・木工玩具販売、模擬店など

問い合わせ先 障害者支援施設宰府園

☎(925)7200

☎(922)3154



食生活改善推進員と作る 減塩みそづくり教室

日本人の食生活に欠かすことのできないみそを、塩分控えめで手作りしてみませんか。

当日は家庭のみそ汁の塩分測定も行います。興味のある人は普段飲んでいるみそ汁を50ml程度持参してください。

日時 11月13日(火)・14日(水)

▽午前の部 午前10時～正午

▽午後の部 午後2時～4時

※いずれの日程も内容は同じです。

場所 いきいきプラザ(昇町1-120)

参加費 1kg470円(1人につき3kgまで)

定員 各30人

※初めて参加する人を優先し、申込多数の場合は抽選します。

申込方法 10月25日(木)(当日消印

有効)までに往復ハガキに住所、氏名、電話番号、必要なみその分量、参加希望日時(第1希望、第2希望まで)を書いて送る

※返信用ハガキには住所、氏名を書き、裏面は白紙で送ってください。

申込・問い合わせ先 健康課保健指導担当「みそづくり教室」

係(〒816-0851 昇町1-120 いきいきプラザ内)

☎(501)1134

☎(501)0051

血糖値を穏やかに下げる教室 参加者募集

血糖値は高めだが、生活習慣の改善はなかなか難しいと感じている人を対象に、血糖コントロールのポイントを学ぶ教室を開催します。

対象 健診や病院での血液検査で

血糖値が高め(空腹時血糖

値が110以上またはヘモグロビンA1cが5.6以上)といわれたことがある

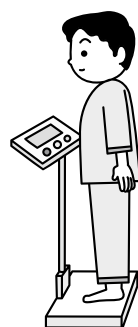
人

○糖尿病について知ろう

日時 11月12日(月)

午前10時～正午

内容 身長・体重・体脂肪・腹囲・血圧測定、糖尿病について



んな病気? 検査について

のお話、情報交換

○栄養カロリーバイキング

日時 11月22日(木)

午前10時～午後1時

内容 食生活改善推進会員が調理した数種類の単品メニューから自分に合ったカロリー内で選び試食する

日時 11月28日(水)

午前10時～正午

内容 ヘルスリーダーの会のメンバーと一緒に市内のお勧めウォーキングコースを歩く

場所 いきいきプラザ(昇町1-120)

参加費 無料(11月22日(木)のみ材料代として500円必要)

定員 20人(申込先着順)

※3回とも参加できる人を優先して受け付けます。

申込方法 11月2日(金)までに電話で氏名、生年月日、電話番号を伝える

申込・問い合わせ先 健康課保健指導担当

☎(501)1134

☎(501)0051

10月17日～23日は
くすりと健康の週間

10月17日(水)から23日(火)までは「くすりと健康の週間」です。この機会に、薬について考えてみませんか。

▽薬同士の相互作用以外に、医療機関での処置や検査結果に影響を与える薬もありますので、お薬手帳などを活用してください。

▽複数の医療機関を受診する際は、お薬手帳などを医療機関や薬局に提示すると、効果が近い薬や相反する薬の調整が可能となります。

※詳しくは問い合わせてください。

問い合わせ先 筑紫保健福祉環境
事務所総務企画課企画指導係

☎(513)5610
FAX(513)5598

男性のための
元気アップ運動大学

介護予防に興味はあるが、女性ばかりの教室が多く参加しにくいという人のために、男性だけを対象とした運動教室を開催します。気軽に仲間づくりを行いながら、若々しい身体をつくりませんか。

対象 市内に居住する65歳以上80歳未満の男性
期日・内容 計7回
▽11月7日(水)～12月12日(水)の毎週水曜日

柔軟性や筋力アップの体操、腰・膝の痛み予防改善体操など
▽12月19日(水)

体力測定、血管年齢測定、体組成分析測定、結果説明など
時間 午後1時30分～3時30分
場所 いきいきプラザ(昇町1-120)

参加費 無料(12月19日(水)のみ500円)

定員 30人(申込先着順)

申込方法 電話かファックスで住所、氏名、年齢、電話番号を伝える

申込・問い合わせ先 健康課介護予防担当

☎(501)1134
FAX(501)0051



かすがボランティアセンター
介助ボランティア講座

初心者や活動者を対象とした介助ボランティア講座を行います。地域福祉活動の重要性や車いすの操作方法などを学んでボランティア活動に生かしませんか。参加は無料です。

日時 11月16日(金)
午前10時～正午

場所 市社会福祉センター大会議室(昇町3-101)

定員 20人(申込先着順)

申込方法 11月9日(金)までに電話、ファックス、Eメール、

直接窓口のいずれかで住所、氏名、電話番号を伝える

申込・問い合わせ先 かすがボランティアセンター(昇町3-101)
☎(501)1136
FAX(581)7258

kasuga.vol@aioros.ocn.ne.jp

春日市献血推進協議会
400ml全血献血にご協力を

治療に必要な血液は、すべて献血で賄われていますが、血液は長期間にわたって保存することができません。献血にご理解とご協力をお願いします。

なお、年齢や体重など献血には一定の基準があります。詳しくは問い合わせてください。

日時 11月2日(金)

午前9時30分～11時30分

場所 春日北小学校コミュニティルーム(岡本1-35)

持ってくるもの 献血カード(手帳)

※持っていない人は、本人確認ができるもの(運転免許証など)が必要です。

問い合わせ先 同協議会(市福祉計画課内)
☎(584)1111
FAX(584)3090

オストメイトのための
懇談会

人工肛門や人工ぼうこうをつけている人(オストメイト)やその家族、医療関係者を対象に、災害時のストーマ装具確保について話し合います。

参加は無料で、申し込みも不要です。

日時 10月28日(日)

午後1時～4時

場所 クローバープラザ501研修室(原町3-1-7)

演題 「一人で悩まず仲間と共に」
問い合わせ先 公益社団法人日本オストミー協会福岡県支部

筑紫分会 河内

☎(928)4853(FAX兼用)



最近、本を読んでいますか
パパ・ママの読書タイム

子育て中の保護者が、図書館でゆっくりと本を選び、読書できるように、ファミリーサポートセンターかすがの「まかせて会員」が託児を行います。

ゆつくりと図書館で読書を楽しんでみませんか。
対象 生後3カ月(首が据わった子ども)～未就学児とその保護者

日時 11月14日(水)

午後1時～2時30分

場所 市民図書館(大谷6-24ふれあい文化センター新館内)

託児場所 ふれあい文化センター旧館集会室A

参加費 子ども1人500円

定員 5組(申込先着順)

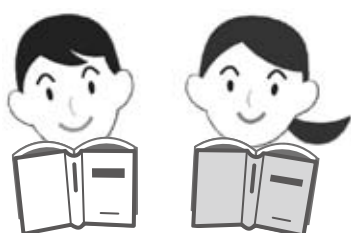
申込方法 10月24日(水)～11月7日(水)に電話、ファックス、Eメールのいずれかで保護者と

子どもの名前、子どもの生年月日、電話番号を伝える

申込・問い合わせ先 子育て支援センター

☎(584)1010
FAX(584)7739

kasodate@city.kasuga.fukuoka.jp



参加者募集 パパママ教室

夫婦でこれからの出産や育児について考えてみませんか。

対象 妊娠経過が順調で、出産予定日が平成25年1月・2月の妊婦とその夫

日時 11月17日(土)

午後1時30分～4時30分

場所 いきいきプラザ(昇町1-120)

内容 助産師による話「お産の仕組みとリラクゼーション」、育児実技(もく浴実習など)

参加費 1組400円

定員 16組(申込多数の場合抽選) 持ってくるもの 母子健康手帳

申込方法 10月29日(月)(必着)までに往復ハガキに住所、氏名(夫婦)、年齢、電話番号、出産予定日を書いて送る

※返信用ハガキには住所、氏名を書き、裏面は白紙で送ってください。

申込・問い合わせ先 健康課保健

指導担当 パパママ教室申

込受付(係) 816-0851



昇町1-120 いきいきプラザ内

☎(501)1134

FAX(501)0051

離乳食教室 参加者募集

赤ちゃんの食事量や内容で悩んでいる人のための、離乳食の作り方や進め方の教室(離乳食中期以降の話が中心)です。

託児(1人300円)も行います。

対象 6～8カ月の子どもを持つ保護者

日時 11月28日(水)

午後1時30分～3時30分

(受付:午後1時～)

場所 いきいきプラザ(昇町1-120)

参加費 200円(実習材料費)

定員 20人(申込先着順)

持ってくるもの 母子健康手帳、エプロン、三角巾、手拭きタオル、託児に必要な道具(記

名済みのもの)

申込方法 10月15日(月)～31日(水)に電話かファックスで住所、氏名、電話番号、子どもの生

年月日、託児の有無を伝える

申込・問い合わせ先 健康課保健指導担当

☎(501)1134

FAX(501)0051



始めよう！うちエコ生活 空き缶をコラージュ講座

空き缶を新聞紙や布などを使って装飾した植木鉢を作り、多肉植物などを植えます。

日時 11月7日(水)

午前10時～正午

場所 ふれあい文化センター新館 実習室B(大谷6-24)

参加費 100円(材料費)

定員 30人(申込先着順)

申込方法 10月15日(月)～26日(金)に電話、ファックス、Eメール

のいずれかで住所、氏名、電話番号を伝える

※後日、持ってくるものなど詳しい内容をお知らせします。

申込・問い合わせ先 環境課環境計画担当

☎(584)1111

FAX(584)1147

✉kanky@city.kasuga.fukuoka.jp



ダンボールコンポスト 講習会・相談会

ダンボールコンポストで、手軽な生ごみの減量と、栄養たっぷりの堆肥作りに取り組んでみませんか。受講者にはコンポストのセット(1世帯1個)を差し上げます。

受講は無料です。

日時 11月8日(木)

午前10時～11時30分

場所 市役所405・406会議室

定員 20人(申込多数の場合抽選)

申込方法 11月2日(金)までに電話かファックスで住所、氏名、電話番号を伝える

※過去の受講者を対象に、相談会(予約不要)も行っています。現在生成中の堆肥を、ビニール袋に一握り程度入れて持ってきてください。

申込・問い合わせ先 ごみ減量推進課

☎(584)1157

FAX(584)1147

春日大野城リサイクルプラザ リサイクル展示会

同プラザに持ち込まれ、再利用できるように修理した自転車(約30台)やスチール家具類(約100点)などを展示し、譲渡または販売(自転車のみ)します。

日替わり品もありますので、希望者はマイバックを持参してください。

対象 春日市・大野城市に住んでいる人

展示期間 11月6日(火)～11日(日)

(10日(土)を除く)

時間 午前8時30分～午後4時

場所 同プラザ(春日公園6-2)

申込方法 展示期間中にハガキ(1世帯1枚、表面に申込者の住所と氏名を記入、裏面が白紙のもの)を持参して申し込む

注意事項

▽1世帯で、自転車・スチール家具類を各1点申し込めます。

▽同一世帯(2世帯も含む)による複数の申し込みは無効とします。

▽自転車は有料(2000円)で、防犯登録料(500円)も必要です。

▽自転車当選後1年間は、新たに自転車の申し込みはできません。

▽申込多数の場合は、11月13日(火)午前9時から公開抽選を行い、結果はハガキで通知します。

▽当選品は、11月15日(木)～21日(水)(平日のみ)の午前9時～午後3時30分に引き取ってください。

申込・問い合わせ先 同プラザ

☎(596)7066

FAX(595)4140

✉koplaza@csf.ne.jp

200海里の森づくり 植樹交流会参加者募集

筑後川の源流水の環境サイクルを復活させることで川下の生活に潤いをもたらし、未来の子どもたちに豊かな水資源を引き継ぐため、福岡都市圏広域行政事業組合を中心に、植樹交流会を行います。参加は無料です。

対象 市内に居住する小学生とその保護者

日時 11月23日(金)(少雨決行)
午前7時30分～午後6時

集合・解散場所 春日市役所市民駐車場

場所 日田市中津江村合瀬鯛生スポーツセンター(植樹会)、鯛生金山(交流会)

内容 植樹、バーベキュー(昼食)、金山体験(砂金採り、金山入坑)

定員 40人(申込多数の場合抽選)

※抽選結果は電話でお知らせします。
申込方法 10月29日(月)(必着)までにハガキ、ファックス、Eメールのいずれかで事業名(200海里の森づくり植樹交流会参加希望)、申込者全員分の郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・年齢・性別・電話番号・携帯電話番号を明記して申し込む

申込・問い合わせ先 行政管理課

企画担当(〒816-8501
春日市役所)
☎(584)1111
FAX(584)1145

✉ kikaku@city.kasuga.fukuoka.jp



子ども歴史クラブ 石包丁つくり体験

弥生時代(今から約2000年前)に稲穂を摘み取る道具として使われていた石包丁を作って、古代人の生活の知恵を体験しませんか。

参加は無料です。

日時 11月10日(土)
午前9時～正午

場所 奴国の丘歴史資料館(岡本3-57)

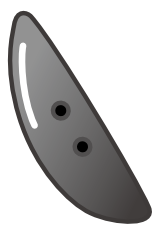
定員 30人(申込先着順)

申込方法 11月9日(金)までに電話、ファックス、直接窓口のいずれかで住所・氏名、年齢、電話番号を伝える

申込・問い合わせ先 同資料館

☎(501)1144

FAX(573)1077



フォロニアップ講習会 参加者募集

ファミリー・サポーター・センターかすがでは、会員と市民の皆さんへのコミュニケーション講座として「フォロニアップ講習会」を行います。

親子、夫婦、近所、地域などで起きる怒りや不安などをどのように解消していくか、日常生活を楽しく明るくしていくヒントを見つけませんか。

受講は無料で、託児(生後3カ月以上・無料・先着20人)もあります。

日時 11月20日(火)
午前10時～正午

場所 すくすくプラザわんぱくルーム(須玖南2-120)

演題 「コミュニケーションのツボを教えます!」

講師 長阿彌幹生さん(教育文化研究所代表)

定員 50人(申込先着順)

申込方法 10月15日(月)以降に電話、ファックス、Eメールのいずれかで住所・氏名、電話番号、託児の有無を伝える

申込・問い合わせ先 同センター

かすが事務局(すくすくプラザ内)

☎(584)7700

FAX(584)7739

✉ famisapo@city.kasuga.fukuoka.jp

お宝文化人 漬物講習会

お宝文化人の矢下善生さんが、低塩漬物作り講習会を行います。漬物食文化を気軽に学んでみませんか。

日時 11月10日(土)
午前10時～正午

場所 ふれあい文化センター旧館

内容 料理講習室(大谷6-24)
白菜キムチ漬け、ぬか漬け、高菜ご飯

参加費 1人300円(材料費)

定員 36人(申込先着順)

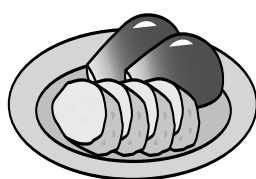
持ってくるもの エプロン、三角巾、布巾、皮むき器、ビニール袋5枚、筆記用具

申込方法 10月18日(木)以降に電話、ファックス、Eメール、郵便のいずれかで住所・氏名、電話番号を伝える

申込・問い合わせ先 春日市漬物名人コンクール実行委員会

(〒816-0845白水ヶ丘3-37樟味屋内)

☎(574)7989



FAX(574)8004
✉ yashita@tarumiya.com
**独立・創業を目指す人の
創業セミナー**

これから創業を考えている人を対象にした、必要な専門知識や心構え、事業計画の作成方法など、「経営理念や経営計画づくり」が中心の実践的な内容です。

税理士や中小企業診断士が講師となっており、創業に向けた具体的なアドバイスをしています。

日時 11月11日(日)・25日(日)(計2日間)
午前9時30分～午後4時30分

場所 大野城まどかぴあ(曙町2-13-1)

内容 創業の準備と心得、資金調達、創業者の体験談、マーケティングについて、税務の知識について、事務計画の作成など

受講料 3000円

定員 30人(申込先着順)

申込方法 10月15日(月)～11月8日(木)に電話かファックスで住所・氏名、電話番号、ファックス番号、携帯電話番号を伝える

申込・問い合わせ先 大野城市商工会

☎(581)3412

FAX(581)3703

春日まちづくり支援センター
「ぶどうの庭」からのお知らせ

○ぶどうの庭パン広場

日時 11月5日(月)

午前10時30分～午後1時

場所 同センター

内容 枝豆・チーズ入りカレー

パン、ポピールモンパン

参加費 1500円

定員 12人(申込先着順)

持ってくるもの エプロン、三

角巾、筆記用具、パン持ち

帰り用容器

申込期限 11月2日(金)

託児 生後5カ月～未就学児

(1人当たり1000円、

10月29日(月)までに要申

込)

○韓国料理教室

日時 11月11日(日)

午前10時～正午

場所 ふれあい文化センター

(大谷6-24)

内容 のり巻き、チャプチェ、か

ぼちやのおかゆ

参加費 1500円

定員 30人(申込先着順)

持ってくるもの エプロン、三

角巾、筆記用具

申込期限 11月9日(金)

申込方法 申込期限までに電話、

ファックス、Eメールのい

づれかで住所、氏名、電話番

号を伝える

申込・問い合わせ先 同センター

「ぶどうの庭」(須玖北5-155)

155)

TEL (589)3388

FAX (589)3399

machien@bb.csf.ne.jp

URL http://www2.csf.ne.jp/~ma

chicen

ワンコイン教室

スポーツと体のお話し

誰でも何度でも気軽に受講でき

ます。

期日・内容

▽11月11日(日)

脱メタボへの近道

▽11月25日(日)

親子で学ぶ体づくり

▽12月2日(日)

中高年のケガ予防

時間 午前10時～正午

場所 ふれあい文化センター新館

研修室1・2(大谷6-24)

講師 森山善彦さん(福岡県体育

協会スポーツ医科学委員

会)

受講料 1回500円(中学生以

下は無料)

定員 50人(申込先着順)

申込方法 10月31日(水)までに電

話、ファックス、Eメールの

いずれかで住所、氏名(ふり

がな)、年齢、電話番号を伝

える

申込・問い合わせ先 市体育協会

TEL (574)9131

FAX (574)9138

haru@bb.csf.ne.jp



知っていますか

全国共通人権相談ダイヤル

差別、暴行・虐待、いじめ・体罰、

名誉毀損・プライバシー侵害など、

悩みや困っていることがある人

は、どんなわずかなことでも、一人

で悩まずに電話してください。

人権擁護委員と法務局委員が相

談に応じます。

秘密は厳守されますので、気軽

に相談してください。

相談電話番号

▽みんなの人権110番(全国共

通)人権相談ダイヤル)

TEL 0570(003)110

▽子どもの人権110番(全国共

通)通話料無料)

TEL 0120(007)110

▽女性の人権ホットライン(全国

共通)

TEL 0570(070)810

問い合わせ先 福岡法務局筑紫支

局

TEL (832)4311

FAX (832)4323



みんなの遊び場
参加者募集

「自分の責任で自由に遊ぶ」を

モットーに、雑木林の中で木工工

作や陣取りなどの群れ遊びをし

す。

参加費は無料で、申し込みも不

要です。未就学児は、保護者同伴で

参加してください。

日時 10月20日(土)・21日(日)(雨天中

止)

場所 大谷ふれあい公園(大谷6

11-1)

※長袖・長ズボン、靴を着用して参

加してください。

問い合わせ先 さすがに冒険遊び

場をつくるう会

TEL (952)0166

FAX (591)2291

ボーイスカウト春日第3回
ボーイスカウト募集

野外活動や奉仕活動などを通し

て、たくましさ、自立心、協調性、社

会性などを身に付けませんか。

対象

▽ビーバースカウト

年長9月～小学2年8月

▽カブスカウト



小学2年9月～小学5年8月

ボーイスカウト

小学5年9月～中学3年8月

※いずれも男女は問いません。

○説明会

日時 10月21日(日)

午前10時～午後1時

場所 ふれあい文化センター旧

館料理講習室(大谷6-24)

問い合わせ先 同団

▽中村

TEL (574)2632

▽中島

TEL (591)2625(☎兼用)

勉強サポート会

生徒募集

成績アップを目指すやる気のある

小学5・6年生(英語のみ)、中学

生の勉強(英語・数学)をサポート

します。

対象 小学5・6年生、中学生

日時(週1回1時間程度)

▽英語 水・木・土曜日

▽数学 火・土・日曜日

場所 市社会福祉センター(昇町

3-101)

会費 月額1000円(教材費)

申込・問い合わせ先 同会 大野

TEL (591)0264

7月14日に行った「第62回社会を明るくする運動」推進大会の一環として、市内3つの中学校から募集した作文の最優秀作品(原文のまま)を紹介します。

薬物から学んだこと

春日北中学校3年 村上さくら



私の中学校では毎年薬物乱用防止教室という講演会があり、講師の方を、学校にお招きして、薬物についての話をいただいています。

最初は、薬物なんて私たちには縁がないだろうと思っていたので、講演までする必要はないんじゃないかと思っていました。

しかし、実際に講演を聞いてみると、薬物に対する見方が大きく変わってきました。

今まで三回くらい講演を聞いて、一番印象に残っているのは実際に薬物に手を染めてしまった人の実体験の話です。

特に、薬を始めたきっかけが、中学生の頃「先輩にすすめられて」という人が多くてびっくりしました。

薬物には色々な種類がある事も分かったし、薬物によっては幻覚や吐き気などをおこしたり、全てにおいて脳や身体に影響をおよぼす事も学びました。

薬物に手を染めてしまった人々はほとんどが周りの友達や先輩方がやっていて自分も好奇心や軽い気持ちからはじめたと言っていて、薬物は常に私たちの身近な所にひそんでいるんだなと思うと、怖くも感じました。特に薬物は常習性があり、一度始めると、なかなかやめられないそうです。

講演会の他に学活の時間にもタバコやお酒の害について学びました。

タバコやお酒は薬物ではないけれど、これも未成年は法律で禁止されているし、若い頃から始めると肝臓や肺など自分自身の体に悪い影響がでるという事も学習を通して分かりました。

薬物は体に悪い上にこれは犯罪なので、たった一回使っただけで自分だけではない周りの身近な人にも迷惑をかけ、自分自身も心も体もぼろぼろになってしまい、人生を大きく変えてしまうものなんだという事を思いしらされました。

もし、これだけ身近な薬物をすすめられるような事がこの先あったとしても、この講演会で学んだ事を思い出し、人に流されない強い心を持って断ろうと思います。

講演会で学んだ事は薬物だけではなく、私は自分の人生は他人が作るものではないという事も学びました。

自分は誰のものでもなく、自分の人生は自分で大切にしたいかないといけないという事は、この講演でもう一つ学んだ事です。だから私はこれからも自分自身をしっかりと見つめて、考えることができるようになりたいと思いました。

私はこの講演会で薬物について、そして自分の命の大切さについて学ぶ事ができ、とても考えさせられました。

この事は大人になっても忘れる事なく、今度は私達から未来の子供達にも伝えていかなければいけない事だと思いました。

そして何よりもかけがえのない自分の命を大切に、これからの人生を精一杯生きていこうと思っています。

薬草観察会 参加者募集

四王寺山の薬草を筑紫薬剤師会の薬剤師と一緒に楽しみながら勉強しませんか。

参加は無料です。

日時 11月11日(日)

午前10時～午後1時(集合:午前9時30分)

※弁当とお茶を用意しています。

集合場所 文化ふれあい館(太宰府市国分4-9-1)横の多目的広場

※雨天時は文化ふれあい館で90分程度の薬草についての講演会を行います。

定員 30人程度(申込先着順)

申込方法 10月15日(月)～31日(水)に、薬草観察会のポスターを掲示している薬局にある

申込用紙に記入する

申込・問い合わせ先 同薬剤師会事務局

TEL (571) 8116

FAX (571) 8146



お知らせします

福岡県最低賃金改正

福岡県の最低賃金が改正されました。使用者も労働者も必ず確認しましょう。

最低賃金 1時間701円

※これまでの最低賃金は695円でした。

発効日 平成24年10月13日

※特定の産業には特定(産業別)最

低賃金が定められています。詳しくは問い合わせください。

問い合わせ先

福岡労働局賃金課

TEL (411) 4578

FAX (411) 2633

福岡中央労働基準監督署

TEL (761) 5605

新規高等学校卒業生 求人提出のお願い

新規高卒者の求人は、県全体では若干増加傾向にありますが、いまだ厳しい状況が続いています。

す。

新卒者は、長期的に企業を支えることが期待される人材です。厳しい経済状況ですが、新規高卒者の採用について、検討をお願いします。

問い合わせ先 福岡南公共職業安定所(ハローワーク福岡南)

専門援助部門

TEL (513) 8609

FAX (513) 8606



Kenko Keijiban

健康 掲示板

健康課(いきいきプラザ内)
☎(501)1134 ☎(501)0051

臓器移植とは、人の健康な心臓や腎臓などの臓器を、病気や事故によって臓器が機能しなくなった人に移植し、機能を回復しようとする医療です。これは、第三者の善意による臓器の提供がなければ成り立ちません。

移植に用いられる臓器は、心臓、肺、肝臓、腎臓、脾臓、小腸、眼(角膜)です。

現在、日本で、臓器の移植希望登録をしている人は、約1万3000人います。これに対して移植を受けられる人は年間約300人で、移植を待ちながら亡くなる人が少なくありません。臓器移植を受けた人の多くは、希望を持って新たな人生の第一歩を踏み出しています。

臓器提供には、本人や家族の意思が大切です。意思を表示することに年齢の上限はありません。高齢の人でも、病気で薬を飲んでいる場合でも誰でも意思表

10月は臓器移植普及月間です

臓器提供には、本人や家族の意思が大切です。この機会に、臓器提供について考え、自分の意思をきちんと表示しておきましょう。

示ができ、これまで0〜70歳代の人からの臓器提供が行われています。

ただし、がんや全身性の感染症で亡くなった場合などは、臓器提供できないことがあります。実際の臓器提供時に医学的検査をして判断されます。

臓器提供の意思は、(社)日本臓器移植ネットワークのウェブサイトで登録するか、意思表示カード、運転免許証や健康保険証の裏面の「臓器提供意思表示欄」などで示すことができます。

臓器提供意思表示カードは、市役所、保健所、ハローワーク、運転免許試験場、免許の更新ができる警察署、一部コンビニや銀行などに設置されています。

臓器提供意思表示欄には、「提供したい」「提供したくない」というどちらの意思も表示できます。

これらは、あなたの臓器提供への意思を守るためのものです。この機会に、私たち一人一人



△臓器提供意思表示カード

大切な家族と臓器提供についてよく話し合い、自分の意思をきちんと表示しておきましょう。

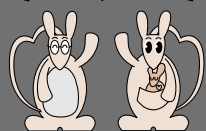
問い合わせ先

▽(社)日本臓器移植ネットワーク
☎0120(78)1069
<http://www.jotnw.or.jp/>

※モバイルサイト(<http://www.jotnw.or.jp/m/>)からも登録できます。

▽福岡県メディカルセンター
☎(432)5577

カンガルー通信



春日市子育て支援センター

(須玖南2-120すくすくプラザ内)

☎(584)1010 ☎(584)7739

<http://www.city.kasuga.fukuoka.jp/kosodate>

○出掛けてみませんか

市内3つの児童センター(白水・光町・毛勝)では、就学前の子ども(概ね3歳未満)とその保護者だけで自由に遊んだり、ゆっくり過ごしたりできる居場所「カンガルーの時間」を設けています(火〜金曜日の午前10時〜午後2時に利用)。また、市内26地区に子育てサロンや育児サークルもあります。

子育て同世代の人や先輩たちと一緒に楽しいひとときを過ごしてみませんか。

詳しくは子育て支援センターに問い合わせてください。

○作ってみよう〜ネームプレート(名札)〜

子育てサークルに参加したり、いろいろな広場に遊びに行ったりしたときに、スタッフや他の参加者にも名前を覚えてもらえるように名札を活用しませんか。

作り方を参考に、各家庭で工夫してすてきなネームプレートを作ってくださいね。

【作り方】

1. 10cm×20cmの不織布(布でも可)の両端を縫って、細いゴムを通して、マスク型にします。
2. 名前をマジックで書いたり、子どもの好きな動物、食べ物、乗り物などをフェルトや刺しゅう糸で縫い付けたりします。



◁できあがったネームプレートを背中に背負うだけ。邪魔にならずに体を動かしたり、遊んだりできますよ。市販のマスクでも代用できます。

※10月21日(日)に行う「いきいきフェスタ」の子育て広場でネームプレートキットを差し上げます。詳しくは問い合わせください。

かすが コミュニティ スクール

春日南中学校区の取り組み

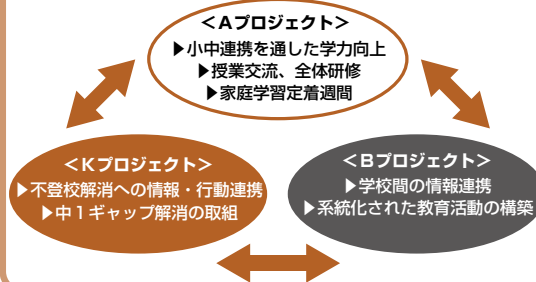
AKBプロジェクトに夢を乗せて ～なんちゅう校区共育推進委員会の挑戦～

春日南中学校区(春日南中・春日南小・天神山小)では、今年度から、「なんちゅう校区共育推進委員会」を設立して小・中学校の連携を中核とした小・中学校9年間を見通した共育を推進しています。同委員会では、「AKBプロジェクト」という3つのプロジェクトを組織し、学校と家庭、地域が双方向でつながる「Win and Win」の関係づくりを通して、「地域とつながり、地域に感謝する児童、生徒の育成」を目指して取り組んでいます。

A(Active)プロジェクトでは、「家庭学習定着週間」を10月と2月に設け、小・中学校が合同で家庭と連携して、家庭学習の定着を図る指導を行います。また、「小・中学校での授業交流」「小・中学校全体研修」の実施を通して教師の実践的指導力の向上を目指します。さらに、学力向上のために小・中学校が連携して実践する事項をまとめた「なんちゅう校区学力向上ハンドブック」を作成して、児童生徒の学力向上を目指していきます。

K(Kind)プロジェクトでは、年間3回、小・中学校合同で「不

なんちゅう校区AKBプロジェクト



△AKBプロジェクト取り組み図

登校対策連携委員会」を開催します。不登校専任教員やスクールソーシャルワーカー、子育て支援課職員なども参加し、幅広い面から不登校の解消に向けた方策を検討し、問題解決を目指します。また、児童会と生徒会との交流や、中学生と小学6年生の交流を積極的に推進し、「中1ギャップ」の解消に努めていきます。

B(Build)プロジェクトでは、現在、小・中学校が実践しているコミュニティ・スクールの教育活動について情報連携を図りながら、系統的な教育活動の充実を目指します。特に、小学校では、「登下校指導」「学習支援」「公民館学習」など地域から支援を受ける活動が多いことから、中学校では、積極的に地域貢献活動を仕組み、「ラジオ体操支援」「地域感謝デー」「夏祭り支援活動」など地域に感謝の心を持ってお返しする活動を実施しています。

なんちゅう(南中)校区の3つの小・中学校がAKBプロジェクトに夢を乗せ、さまざまな共育活動に挑戦していきたいと考えています。未来に生きる児童・生徒を、なんちゅう校区の学校、家庭、地域が力を合わせて育てていきます。

教務課 教育総務担当 ☎(584)1111 ☎(584)1153

市の人口

9/15現在

◎総人口 110,745人

女 56,954人

男 53,791人

◎世帯数 45,121世帯

春日市総合情報メール

防犯・防災情報や子育て情報、健康情報など11分野の行政情報を携帯電話などにメール配信するサービスです。

下のメールアドレスへ空メールを送信し、返信メール記載のURLをクリックして表示される画面で登録してください。また、下のQRコードを読み取って、空メールを送信することもできます。

登録は無料ですが、メール受信のために所要の通信費がかかります。

✉ ksg-c@ansin-anzen.jp



問い合わせ先

地域づくり課

☎(584)1111

☎(584)1153

12月生まれの 赤ちゃん募集

※3歳まで

写真の裏に赤ちゃんの氏名(ふりがな)、生年月日、住所、電話番号を書いて郵送してください。11月1日(木)消印有効までの到着分の中から抽選で決定します。11月1日(木)消印有効までの到着分の中から抽選で決定します。11月1日(木)消印有効までの到着分の中から抽選で決定します。

送り先 春日市役所

※写真は返却できません。



くさき あい か
釘崎 愛香ちゃん(須玖南)
平成21年10月18日生



なかむら ゆう き
中村 優希ちゃん(若葉台西)
平成22年10月16日生



しのはら り な
篠原 梨那ちゃん(春日公園)
平成23年10月28日生



ひらた かな な
平田 菜菜ちゃん(日の出町)
平成21年10月26日生



10月後期



うえが い みろく
上貝 弥緑ちゃん(岡本)
平成23年10月25日生



今号の表紙は取材デビューをした④が撮影した1枚です。台風16号が過ぎ、爽やかな風が心地よい9月下旬に取材。とは言っても、取材中は走り回っていたので汗だくになったそうですが、すてきなワンシーンを収め、立派に取材デビューを果たすことができたようです。

さて、秋は市内でのイベントが目白押しです。元気あふれるスポーツフェスタ、昨年リニューアルした春日奴国あんどん祭り、ふれあい文化センターがにぎわう文化祭など、担当内で分担して取材に繰り出します。

取材デビューから2年5か月たった私も、おいしそうな匂いを漂わせる出店やバザーを横目に、いい写真を撮るべく精一杯シャッターを切り、先輩風を吹かせたいと思います。

④

奴国歴史資料館

下白水地区の文化財
～あらし～

下白水地区は春日市の西部に位置しており、旧石器、縄文時代の遺跡は多くありません。しかし弥生時代以降には、一の谷遺跡や宮の下遺跡などの^{かめかんぼ}甕棺墓や^{せつかんぼ}石棺墓といった墓が数多く発見されています。古墳時代になると、全長60m級の前方後円墳である日拝塚古墳(国指定史跡)や、下白水大塚古墳が造られました。鎌倉時代には石清水八幡宮の荘園となり、上白水地区とともに白水荘とよばれていましたが、江戸時代前後に分村したようです。

戦国時代末には^{あまのうらじょう}天浦城があり、^{しま}嶋^{しげよし}鎮慶の居城であったことが文献に記されています。

(奴国の丘歴史資料館)



△国指定史跡「日拝塚古墳」
の石室内部